

奥野陣七

(おんりのち)

郷土史家。

(大正十一年大和國生れ、大正十五年九

月七日没)(一四二一九六)。

明治十三年奈良縣南葛城郡大止村より同縣

高市郡歌濱町へ轉住。

爾來權原宮宮社研究に従事、中古國史の歌濱山

西南とあるのは東南の歌濱村の誤りとしたりを指摘、當時縣會議員の時

内成郷分村の主張となりて運動。

二十二年同地の宮縣入社權原神社が

創建せられた。二十八年『神武天皇御記』を著述出版。大阪で没す。